

「大阪南港 野鳥園」は、日本で最初の人工干潟として開園し、環境省の「日本の重要湿地500」にも選定されています。干潟にはカニや貝など多くの生きものが生息し、シベリアとオーストラリアを渡るシギや千鳥の渡り鳥の中継地でもあり、絶滅危惧種に指定されている鳥類も確認されています。

干潟には、貝やゴカイ、カニが生息し、こうした生きものを野鳥達がついばんでいます。



大阪湾の生きものを守ろう。

大阪湾では、自然干潟の99%が失われたとも言われ、現在では淀川や男里川などの河口にわずかに見られるのみとなり、干潟に生息する生物はほとんど欠けており、非常に危機的な状況となっている種類も少なくありません。

大阪南港野鳥園の干潟は、鳥たちにとって燃料を補給（採餌の場所）する重要な中継地です。

こうした干潟は、以前には大都市の多くが海に面し、豊かな干潟のある湾に作られていました。しかし、戦後、干潟はどんどん埋められ、今ではわずかしか残っていません。

ストレスの激しい人にとって、干潟は心を休める貴重で身近な自然です。

2019大阪市地域協議会環境活動

「貴重な渡り鳥の飛来地を守ろう！」

大阪南港野鳥園・清掃活動

2019年11月9日・土

スケジュール

10:30~	開会式・行動説明
11:00~	大阪南港 野鳥園の清掃活動
12:00~	後片付け・昼食会
13:30~	行動終了・解散

連合大阪大阪市地域協議会

大阪南港 野鳥園マップ

